

第3章 自由記述

自由記述欄に記入された意見総数は398件で、回答者全体（2,009人）の19.8%となっている。記入された意見は、内容を11分類にわけて整理をし、紙面の許す限り、できるだけ原文のまま掲載するように努めた。（感想のみのものや、重複した意見は除いている）なお、1人の意見で複数事項にわたるもので、可能なものは分割掲載した。

1. 介護保険制度全般について

- 介護は長期に渡るので、安定した制度が継続されるようお願いします。
- 介護保険制度について、どの様な場合に介護保険を利用出来るのか分からない。
- 質の高いサービスを望みます。その為には、介護報酬の改め、職場の環境整備が必要と思う。
- 介護の水準を落とすことのないように。
- 介護保険の利用できる内容など、CMなどでどのような利用方法があるのか、わかりやすく伝えてほしいです。
- 公的支援等受けられるものなど、何がサービスで受けられるかこちらではわからないので公的機関より具体的に知らせてほしい。
- 各種制度を分かりやすく解説した冊子等を配布いただきたい。受けられる制度（給付等）などを、自分で調べないといけない。細かい制度、給付の具体例をまとめたパンフレットなど。
- 介護保険制度が始まって有難く思っております。昔は自宅で介護は家族だけで最後まで見て今のようなサービスはありませんでした。
- 介護保険のおかげで、何とか経済生活が成り立っているので感謝しています。老々介護の難しさや不安を感じています。
- 介護サービスを受ける様になり、関係者の方の日々の努力を感じています。今後、利用者が増すと思われる中、少しずつ改善され、利用しやすくなることを願っています。
- 介護保険制度の負担割合が増えるのも、あと数十年です。日本国民の人口がだんだん減る時代もやってくるので、時代時代に見合ったサービスをその都度国が考えて日本に居てよかったと思える国づくりを取り組んで頂きたいと思います。
- この制度が始まったことに対しては本当の有難いことと思っています。色々なサービスを利用して助かっています。しかし、サービスやケアそのものの質やケアスタッフの技術レベルの格差があり不満なことが多々あります。しかし、サービスを受けている本人や介護者は、なかなか“こうして欲しい”と言えない所があると思います。
- 父だけでなく、子供も居て配偶者の父も入院しており介護について、本当にお金も、時間も費やしてします。仕事にも影響が出ており、本当の意味で介護保険がよりそってくれているとは思えない。

- 年をとっても安心して生活出来るような制度になるようお願いしたい。
- 自治体によってサービス内容が変わるのは問題がある。（特に新総合事業の内容など）
- 長生きがあたりまえの時代になり、長く生きている限り、介護を受ける必要性は望まなくても生じてくる。介護保険制度は、重要な制度だと痛感しています。
- 介護保険制度が変わる時に、家族や介護者のための学習会があればありがたいです。
- 毎年制度が変わってばかりでは、まず安心して、介護はできません。そして国は、もっと介護の地域格差についても、考えを柔軟して欲しいと思います。何もかも東京中心の考えでは困ります。もっと田舎の方の状況や軽度・重度での介護内容を考えて下さい。
今後、ますます国が在宅介護をすすめていくのであれば、介護者の現状（金銭面と仕事面・税金面）を考えなければ、かなり苦しいことがでてくると思います！！
これから本当に制度を考えるなら、国・社会・自治体の本気になって考えなければ、制度どころか国、社会がまわらなくなる日がきます。
- 介護保険制度について新聞、府民新聞等で知ることが出来ますが、実際その状態になってみないと理解できないと思います。
- 在宅介護を強調するなら医療・介護の体制をそれに合うように取るべきである。「在宅介護」の言葉が一人歩きしている。福祉の予算を増やして、サービスの低下がないようにしてほしい。
- 人生の終末を家族に頼らないで安心して過ごすことのできる施設、制度の充実。
- 介護のための技術の講習会を地域の公民館などで定期的に行なわれたい。プロにならないまでも身近な人のためにすべて人が知っておく必要はあると思います。

2. 連携、相談・情報提供、見守りについて

- 老人夫婦世帯や家族の面倒を見られない子供が多い社会ですので、地域ぐるみで支え合えることが出来たらよいと思います。
- 働きながらの介護が難しくなった時、環境と当事者との等級が介護者の気持ち考えに合わず犯罪に継がったりとまた周りの人が病に悩む人々が多い社会に、愛の手を差しのべて頂きたいと思います。
- 今後出来る限り制度を利用したいと思いますので、情報等の収集に努めたく思っています。
- 同じ境遇の方々との情報交換の場やおしゃべりをする場を早くつくって頂きたい。
- 動けなくなった場合どの様にすれば良いか相談できれば良い。

- 一人暮らしの生活者に対して地域包括支援センターの活動（訪問、電話等）を拡充してほしい。少なくとも月2回程度は。
- 家庭訪問の時間をもう少し多く、話がゆっくり出来るようにのぞみます。信頼関係が大切なので。
- 友達が少ないので、話し相手の方が近くにあるとたのしくすごせます。
- 今後、特養を希望していますが、低所得のため料金の支払いに不安があります。相談できる場所や人がいたらと思います。

3. 要介護（支援）認定について

- 要支援1、2に関しては介護保険とは切り離れた制度にすべきだと思います。高齢者になれば、誰しも日常生活には何らかの支障はあってあたり前だと思います。要支援1・2に関しては自身の努力や予防で対応できるように考えます。予防は必要ですので市町村において積極的に住民に働きかける施策を持つべきです。
- 要支援、要介護では、利用できる内容が異なり、説明を受けても、これは出来ませんとの内容があり、利用する事にとまどいがある。
- 認定の判定が、人によってちがう。判断に差がありすぎると思う。
- 要支援の認定は要介護者を増さない唯一の制度であるべきと思う。認定にあたっては要介護を受ける状態を予防する本人の意志を重視してほしい。
- 体の運動機能に問題がなく、認知症のみの場合、今後要介護の認定を受けることが難しくなると、ケアマネジャーさんが言うておられたのですが…。目に見える体の運動障害と同様、一見してわかりづらい脳の障害も、日常生活に支障をきたすのは同じです。公平な介護認定を受けられる制度を切に望みます。
- 介護の認定を受ける時、本人がいつもよりも、すぐはりきってしまって、本来の生活の事がわかっていただけの心配になる事があります。

4. 施設整備について

- 要介護度が重くなっても、すぐには入居できないようです。将来に向けて介護施設を充実してほしい。
- あと何年生きるかわからないため特養にしか入れられない家族が多いと思うので、1日でも早く、1施設でもいいから増やしていくべきだと思う。それで助かる家族がほんの少しずつでも増えれば介護者の励みになります。

○行政は特養を減らす方向に有る様に聞いていますが、介護度が重度になった時に経済的に負担の少ない施設が充実されることを望みます。

○介護保険のおかげで自己負担額が低く押さえられているので助かっています。フルタイムで働いているのでショートステイとデイサービスを利用していますが、とても助けになっております。自分で動けなくなるまでは自宅で介護できれば、と思っていますが特養のお世話になることも将来的には考えていますので施設を増やして頂けたらと思います。

○介護施設充実は要介護者の心身の安全安心だけではなく、重要だと思う。介護施設の数や内容の充実に早急に対応していただかなければ、国全体の問題につながると思います。

5. ケアマネジャーやケアプランについて

○ケアプランの作成が、ケアマネジャー自身の前職により知識のバラつきがあることが多いと思う。充実した研修をしてほしい。

○地域包括ケアのケアマネジャーさんがとても良くして下さい、感謝しております。ショートステイやデイサービス・病院との連絡の中心となり皆さんと同じ情報を共有でき、認知症でも安心して家で過ごせます。これからは、ケアマネジャーさんの人数を増やし、少しでも家族介護者に寄り添っていただけると、私の様に家庭でもがんばれると思います。

○ヘルパーさんの資質、対応教育等。利用させていただく場合、上から目線や幼児言葉等ではなく、年をいっても1人の大人として接していただきたいと希望します。

○長くにわたり介護保険サービスを使わせていただきました。要介護5であるのに、本人希望の在宅介護ができたのもよいケアマネジャーさんにめぐり合い、いろんな知識を教えてもらい、すぐに対応して下さいましたからだと思います。家族が孤立しないよう、ストレスがたまらないよう話を聞いていただき本当に救われました。

6. 家族介護について

○今は生活ができていますが今後、息子が病気やケガで入院、その他で家を空けるとなると女一人になります。それが今一番心配です。

○これからは老々介護が多くなっていくでしょう。今現在私共が直面しています。本人への支援も必要であるが、介護する側の支援が充実していなければ介護できなくなると思います。

○介護する人にもっと余裕の出来る制度に力を入れてほしい。

○主人の介護生活に入って丸4年になります。近所、親せきや公共の力を借りて日々の生活が送られています。ありがたい事です。

- 介護サービスを受けるようになって、いろいろと充実している事には驚きましたが、もう少し通所などの時間を長く利用出来たり、日数をふやしたい。本人がショートステイに行きたくないと家族がほとんど寝る事ができず、家に居る日は家から出る事はできない。もう少し家族の方にも目を向けて欲しいです。
- 介護サービスの充実。家族の負担の削減。現実問題として家族が介護するという事で家族の生活をこわしてしまう。親より子供孫のほうが大事で責任もある。親まで手がなかなかまわらない。
- 要介護者は1人で1箇所にいるという状況だけではない、そういった時や介護する家族に何か起こった時に素早く対応できること。介護する家族の生活が充実し、要介護者に対する対応がより良くなればいいなと思います。
- 週3回の透析を受けています。認知症・重度の介護認定になった時、老々介護がはじまり私の体力、金銭負担といろいろな不安がいっぱいです。今は大丈夫です。
- 家族が皆働いているので無理は云えない。一人でがんばるだけがんばる。近所の親しい人に大変助けていただいている。
- 介護保険制度は、介護されている本人のみの支援であって、介護する家族の支援まで援助がされていない。介護者も保険料払っているのに。在宅で24時間介護している家族への何か応援となる「策」は考えられないのでしょうか？国保料、介護保険料を免除するとか、現金を支給するとか。

7. 介護サービスについて

(1) 訪問サービスについて

- 親と子2人で同居している場合ヘルパー制度が使えない。仕事と介護の両立が難しい。
- 現在訪問看護で入浴介助をしてもらっています。たいへん助かっています。
- ヘルパーさんのサービスが、もっと多く利用できればと思います。利用した時、2時間の間隔をもつようになっていますが、その間隔が短くなってほしいです。
- ヘルパーを利用していますが、制限事項が多く、急用で外出時、留守番も痰吸引があるので頼めず、急な時は病人を留守番させてどこにも頼めない事があります。介護保険内で家族の外出をお願い出来る、看護師＋ヘルパーの様な人材が欲しい。
- あらかじめ計画していただいているヘルパーさんによる介護日程はよいのですが、それ以外の日、時間帯に介護者の突発的な用事ができた場合の対応、支援体制の検討をお願いしたい。
- 現在要支援2で、掃除のサービスを受けていますが内容の制限が余りにもきついのもう少しでも幅を広げてもらえばありがたいです。

○訪問入浴などのスタッフの方が増えてくださるといいなと思います。

○歯医者さんが家にきてくださるようにしてほしい。

(2) 通所サービスについて

○デイサービスの利用時間を長くして欲しい。利用あとは日常生活がなかなか戻ってきません。

○デイサービスを利用し助かっていますが、働いている家族にとっては送迎時間帯が勤務時間と重なり、気軽に使えない状態にあります。

○デイサービスを利用していますが、周辺の同種サービスと比較させて頂きたい。

○週1回土曜日だけお世話になっていますが、毎週土曜日が待ちどおしい様子です。デイサービスに行くまでは、不安もあり大変いやがっていましたが始めの1日ですっかり気に入ったようです。お風呂が気持ち良くて長く入っているから介護師さんに早く上りなさいと云われているようです。楽しく通わせてもらっています。

○介護保険制度があり、デイケアに行ったりとして、とても助かっています。ショートステイや、デイケアの日は、買い物や用事病院等に介護者が外出でき、またゆっくり休み、心がやすらぎます。本当に助かっています。一人になって自由な時間が持てなかったら、介護者も、病気になって倒れていたと思います。これからは是非この制度を続けてください。共倒れにならないように気を付けたいと思います。

○介護保険制度が出来て、老人の生活に変化が出来て、大変幸せな世の中になったと感謝しています。デイサービスや認知症カフェ等有難いです。このような施設がなかったら老人はずっと家に引籠って孤独に暮らさねばなりません。有難うございます。

○今の介護サービスの範囲内では事業所さんにも努力を最大限していただき感謝していますが、デイサービスの時間外で、みてもらえる場がなく、困ることがあります。介護者がショートステイになれてない時など、特に、こちらのニーズの時間内（早朝とか遅い時間とか）で介護サービスが受けられるような制度があると嬉しいです。時間外にきて下さる方があってもかなり自己負担分は高いので、制度として、あればとても助かります。

(3) 福祉用具購入・住宅改修について

○介護保険で必要品をレンタルで借りた時業者によって利用料金が異なるが、同一料金に指導できないのか。

○介護保険のおかげ介護用具のレンタル代を安くしていただき利用しやすくしていただいている助かっています。ただこの価格が正しいのか？と思う事があります。

○介護のために使用（利用）する用具のレンタル、リース料金があまりにも高すぎる。

(4) ショートステイ、施設サービスについて

- 要介護5でデイサービス、ショートステイなど利用料金が高いためなかなか利用できない。
- 96才の母をみております。私達は69才です。入院、退院をくりかえしており、ショートステイに預かっていただき助かっています。老老介護はしんどいです。でも自宅で最後までみたいと思っております。
- 施設等への入所簡略化、又、入所待ちが長すぎる。
- 有料の施設へ入所したが、施設側の条件で違いすぎる。(民間の施設へ入院、病気で退所させられた)
- 民間施設での利用条件の統一化。施設により違いすぎる。同一条件。同一料金。
- 冷たいようですが、頼れるのはデイサービス・ショートステイで、家族・親せきはあてになりません。介護するものにとって、本当にありがたい所と思っております。少しでも安く利用させて頂けるようお願いしたいです。ありがとうございます。
- 特養のように低価格で手厚い介護を受けられたら最も良いと思うが、現状では少数しか受け入れられず登録していても生存しているうちに入所できるかどうかわからない。現在は小規模多機能介護事業所で毎日サービスを受け、家族的なグループ単位での介助、支援を受けて、自然な形で生活能力を維持することができている。独り暮らしの限界を感じて此処に入所させてもらったが良い施設とスタッフに巡り合えて良かったと思っている。
- 緊急時に24時間いつでも出入りOKの施設があれば、理想です。
- ショートステイ利用時に具合が悪くなった場合、とり急ぎ施設の担当医が診察していただけたら…具合の悪い時に帰宅させないように。
- 糖尿病で認知症を患っている場合、選択できる施設等が決まっており様々な病気に対応できる柔軟性のある、施設をもっと考えていただきたい。
- ショートステイでは、体を動かしたり楽しめるような事を取り入れて欲しいと思います。
- 特別老人ホームは経済的に入居出来ない方が多いと聞きます。私達も親の介護で苦しい思いをしています。

(5) 介護業務に携わる人材等について

- 介護施設等で働いている方々の処遇改善を、国を上げて行い、今後ますます必要とされる働き手が安心して、仕事に励めるような介護保険制度であってほしい。
- 今以上に今後、高齢者が増加する一方なのでケアマネジャーやヘルパーさんなどの増員を希望する。

○まずは、専門家の相談出来る方が身近に欲しい。そばにいるのは無理でも、すぐに連絡相談が出来る環境、対応してくださる安心、信頼出来る方が欲しいです。本来ケアマネがそうであって欲しいのですが、訪問よりも会議に追われているような、月一の訪問もおろそか、多忙であっても電話等で状況を確認する等の方法すらとられない方々がケアマネとしてえらそうにしている。

○在宅介護で望む事は、出来る限り訪問看護師さんやヘルパーさん、そしてデイサービスやデイケア（通所リハビリ）やショートステイ等の施設の利用者さんと直接接するスタッフさんが長期に渡って同じ方が勤めていただける環境や状況を実現していただく事です。勤務者側のお互いの情報共有だけでは補い切れない利用者とその家族との生の接触、得難い接触の積み重ねを大切にしたいからです。

○介護ヘルパーさんの質に上下あるのであらためてほしい。

○何事でもそうですが大変なお仕事です。現場で作業する人が働きやすいよう待遇や報酬の再考を。

○利用料金が高すぎる割には介護職員の給与等が低過ぎる。人材が集まらない。

○介護者の意見として。地域包括ケアシステムについては、介護者の離職を余儀なくするものである様に思います。介護者の年齢層での再就職はむずかしく、経済的に非常にきびしい環境になってしまい、介護者が介護を受ける年齢になった時、介護保険料や利用料などの支払が出来なくなるのではと不安になります。介護離職について、救済措置の充実を願います。

8. リハビリテーションについて

○1回の利用時間はもう少し長い方が良い。

○グループでやることが多いので、出来たら個人のためのリハビリも時間をとってほしい。

○あまりにもリハビリがゆるくて、もう少しレベル上げてほしいと思います。もう少し効果につながる様検討してほしい。

○自分の体にあった軽い運動をしながら手先を使った作業などしています。又、マッサージなどしてもらい気分がよくなって帰宅するのでこのまま続けて欲しい。

○理学療法士のいるデイサービスに行っており、もっと増えて欲しい。

○職員が人によって、ずい分やり方等が違う。研修等をもっとやるべき。

○医療保険と介護保険と密に連携したリハビリ指導体制の確立。（個別、キメ細かな指導）

9. 介護保険料・サービス利用料等の負担について

- 介護保険の個人負担が増えてくるので、税金をもう少しまわせるようになってほしい。負担が多くなると利用したくてもサービスが利用できなくなる。
- 低所得者への対策がいろいろあり、ありがたいです。それでも、負担が重く、利用を控えねばなりません。税金との兼ね合いもありますが、できるだけ負担を軽くしていただきたいです。
- 自己負担の割合が大きくならないよう、国全体で介護者をみていけるようにしてほしいです。
- 今後、対象者は激増する。公的負担を減らすため対象者の年齢を85才以上に引き上げランクもきびしくする必要がある。
- 介護保険料を多く払っているのに利用料も2割に上がり、家計の負担が大きくなった。どうかしてほしい。
- 介護サービスを利用すればするほど家計に負担がかかるので経済的に苦しくなるので大変です。もうすこし安く利用したい。
- 介護保険料等が、これ以上、上がりませんように望みます。
- 私は今一割で医療整骨の治療を受けています。内容より料金が安いので毎回恐縮しながらお支払をしています。収入が少ない為だと思いますが、もう少し上げてほしいです。
- 利用料が安いので上げてよい。サービスは充分受けたい。
- 金銭面で不安です。これから介護保険制度が低所得者には上がらないよう望みます。
- 現在の介護を経験しながら、結局はお金なのかと思うことが多々あります。お金がある人は出せばいいと思います。問題はそこまでのお金のない人。要介護者も人間ならば、介護する家族も人間であるので、24時間体制で要介護者に対応しつつ、仕事も自分たちの生活を成り立たせることは非常に困難なことである。
- 介護保険制度は財源の面でいずれ限界がくると思います。受益者負担を原則とすべきです。現役世代の負担や税金の投入は、これ以上増やすと社会が疲弊します。所得の高い利用者からの負担割合を上げることも必要ですが、これにも問題があります。世帯分離や別居等、老人世帯の場合、大抵は負担が少なくなります。しかし、同居の場合、肉体的精神的負担とともに保険料や利用料の負担も大きくなりがちです。家事援助のサービスも受けられず、仕事も出来ません。不公平ではないでしょうか。子供には親を扶養する義務がありますから、離れて暮らしていても、親の介護保険料や利用料は子供の所得に応じて、子供が負担すべきです。介護サービスの内容よりも、今後の財源不足の方が心配です。せっかく出来た良い制度ですから、長く続いてほしいと願っています。

○収入に応じて困る事が多々あります。少ない収入の中で介護、入所がかんたんに利用出来るのでしょうか。とても不安で生きていても悲しいばかりです。皆んなが気軽に安く利用できる介護が受けられたらとても有りがたいです。宜しくお願いします。

○介護保険にお金を使いすぎだと思ふ。ある程度、自己負担をしないと次の世代が困ると思ふ。

10. 認知症について

○1年前母が認知症を発症しました。医療者でありながら早期に対応せずにいたことを悔んでいます。今は、小多機を利用させてもらい、何とか生活しています。母が母でなくなる日がいつかくるであろうという覚悟をもちつつ、なかなか受け入れられない自分がいます。施設の職員さん、ケアマネさんは、本当によくして下さい感謝の毎日です。少しでもこの方々の待遇改善がされ、職員の方がもっと増えるようにと願っています。

○徘徊等のある人の方が、寝たきりの人より、ケアが大変だと聞いてます。介護度にこだわらず、介護者の負担具合でも高いサービスが受けられるよう、個別対応が必要と思ひます。勝手に出歩いて行方不明になったり、家の中が荒れてたり。

○夜の徘徊を止める方法を考えてほしい。部屋のかぎを夜には外からかけるとかをしてほしい。

○90才の義母が認知症になり、入退院を繰り返しております。色々な手続きや相談の方法等、市役所の方は家族が知っているものとして話をされたため、長い期間何も知らずにいました。しばらくしてからケアマネさんを決める事や色々な介護支援を受けられる事を知りました。知っている方も多いのかもしれませんが知らない方もあります。十分な説明をして頂ければありがたいと思ひます。

○アルツハイマーの2期と診断された妻を介護していて、本気で立腹したことがある。本人の同意無しに強制入院させられないかと時々思ふ。

○地域に手軽に行けるオレンジカフェがあればよい。もっと増してほしい。

11. その他

- 道のでこぼこをたいらな道に、歩道がせまかったり、斜めになっていたり、車イスの移動が難しい。
- 今迄出来ていた事が日増しに衰えてきました。通帳とかカードの整理の仕方等、アドバイスについてプリント又はミニ資料の配布を希望します。
- これから先介護者が増えつづけるにあたり予防のために自分で訓練をするように心がけたい。
- 介護は、実際にしている者にしか分からない大変さがあります。今でも十分助けてもらってはいますが、それでも常に精神的に追い詰められる感があります。介護疲れで心中する夫婦の気持ちもすごく分かります。介護している者が、負担を感じない様な方法が何かあればいいと思います。
- 寝たきりにならない介護生活の指導と、根気良い運動機能のリハビリ。
- 介護されている方の問いに対し、やさしく分りやすく答えて下さい。親切にやさしく答えて下さい。
- 介護保険制度について、各分野がバラバラで動いているので、相談はいつも同じ事を何回も話さなければならない。一つにまとめて全部処理ができるようにしてほしい
- 欧米では寝たきり老人はいないと聞く。日本の医療はむやみに長生きさせるだけで、安らかな死を考えていないと思う。もっと自然な死をめざす社会になってほしい。
- 将来の自分への不安。希望は在宅にて終活したい。しかし、一人暮らしの現状の中、介護を受けるにしても、それに見合う金額か。担保できるのか？あるいは、実際のサービスで、24時間の生活が可能なのか？わからないことばかりです。
- 自分が高齢者になり介護を受ける時、手続がなかなか文章では理解出来ない場合、どうすればスムーズに出来るのか不安です。手続の複雑な内容に困ります。
- お医者さんに行くとき、介護保険で安く付き添いのヘルパーさんをおねがいしたい。
- このようにときどきアンケートを書いて出せるのは良い事です。1年に1回ぐらいしてほしいです。
- 各種申請手続きの簡素、簡略化が望まれる。特に老々介護世帯には交通手段も含め厳しいものがある。
- 老老介護を体験しています。介護体験者でなければ本当のつらさはわかりません。私が倒れたらどうしようと思う毎日です。
- レンタルでシルバーカー他お借りしていますが僅かな金額なのに明細が送られます。手間や郵送料がもったいない。半年に1回位でよいのではないのでしょうか。何でも書類を作られるし、関係者の方々も大変と思います。

- 在宅介護の整備を各地域で充実してほしい。
- 病院に移動するときの介護タクシーが高いので、府や町によって無料になるように工夫して欲しい。
- 気持ち良く、人生をまっとうさせてやりたい、又私も同じようにされたいという気持ちで介護しています。介護にたずさわっている方々の日々の努力に感謝しながら、もっと良い方法がないか悶々しております。
- 事業者に対して、公正な公的監査。（ぬき打ち）施設は増えても質が伴わない。
- 仕事と介護の両立について、困難を感じる。仕事によっては介護への考慮が不可能な職種もあり、調整がうまくいかない。
- 家庭医を利用していますが、病院附属の医者なので「儲け主義」的な診療内容になっています。日々のちょっとした症状の変化があっても自分の医者ではない違う医者が、臨時往診に来ます。専門の家庭医で相談に乗ってくれる真の医者を希望します。まだまだ数は少ないですが、家庭医を増やす制度を作ってください。
- 老人のための筋力トレーニングを研究充実させてほしい。口腔トレーニング、口腔ケアをしっかりやってほしい。
- 本人に対するアンケートも大切ですが、介護者からのアンケート回収。今回は問39だけでしたが、もっと細かくアンケートを取ってはいかがでしょうか。